

日本の知恵、
プラスチックの知恵

華やかな磁器に込めた、 日本の美意識

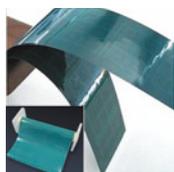
江戸初期の1610年代に有田町泉山（現在の佐賀県有田町）で産声を上げた伊万里焼は、浮世絵とともにジャポニズムの流行となった磁器のひとつ。陶石を粘土状にした材料で作る磁器は、陶器より薄く、硬く、丈夫に仕上がるのが特徴です。中でも色絵で知られる「柿右衛門」は、独特の赤が映える「濁手」と呼ぶ、乳白色の白磁を作ることから始まります。この温かみのある白磁こそが、柿右衛門の美しい絵付けを引き立てるのです。

現在、薄型化が日々進むスマートフォンなどで、基礎となる素材の可能性を拓けているのが、住友ベークライトの半導体基板材料「LαZ[®]」。これまでのプラスチックの概念を変える、薄くて硬く、熱にも反り返らない丈夫な半導体基板材料です。

柿右衛門



色絵花鳥文六角壺（柿右衛門様式）
©佐賀県立九州陶磁文化館 所蔵



LαZ[®]

基板材料「LαZ[®]」を使用した
極薄基板例。総厚80um 従来
基板材料との比較。ロール材での
提供も可能です。

プラスチックのパイオニア

 住友ベークライト株式会社

LαZ[®] 事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-7087 FAX:03-5462-4905 <http://www.sumibe.co.jp>